

セーフティー教室



わたしたちができる防災って何だろう



こ　　い
この子は「あるる」と言います。

ふだん　　まち　あんぜん　まも　しごと　アルソック
普段はみなさんの街の安全を守る仕事をしているALSOKと
かいしゃ　はたら
いう会社で働いています。

きょう　　あんぜん　あんしん　まいにち　す
今日は、みんなが安全に、安心して毎日を過ごすためにはどう
したらよいのかをまな　きょうしつ　はなし　たいせつ
学ぶ、「あんしん教室」でお話している大切
なことをつた　き
伝えるために来ました。

じしん　つなみ　たいふう　おおあめ　こうずい　たかしお　ごうせつ　たつまき　かざん　ふんか
地震、津波、台風、大雨、洪水、高潮、豪雪、竜巻、火山の噴火
など　みぢか　さいがい
等、どれも身近にある災害です。

きょう　　なか　　じしん　はっせい　　そうてい
今日は、その中でも「地震」が発生したときのことを想定して、
「あるる」　　いっしょ　まな
と一緒に学んでいきましょう。

地震が発生したときは
どうすればいいかニャ？



あるる

地震が発生！「その瞬間」にできることは？

Q1 リビングでゆっくりしていたら地震が発生！
どうする!?



- ① 外の様子を見るため、
急いでげんかんに
向かう
- ② クッションで頭を
守る・つくえの下に
入る

Q4 歩道橋の上で地震が発生！
どうする!?



- ① 急いでかいだんを
下りる
- ② その場にしゃがみ、
ふり落とされない
ように近くのポール
をつかむ

Q2 エレベーターに乗っていたら地震が発生！
どうする!?



- ① ひじょうボタンを
おして、外とれんらく
を取る
- ② すべての階のボタン
を押して、止まった
階でおりる

Q5 海で遊んでいるときに地震が発生！
どうする!?(ゆれがおさまってから行動)



- ① つなみが来るかも
しれないから、高い
たてものに逃げる
(海から遠ざかる)
- ② 車に乗って、急いで
家に帰る

Q3 夜中、ねていたら地震が発生！
どうする!?



- ① 暗くてこわいから、
まどから外に出る
- ② ベットの地下に入る・
まくらやふとんで頭
を守る

番外編 いざという時の食料やお水はどのくらい
必要?



- ① 最低1日分
- ② 最低3日分

さいがいに
災害が起きるその前に!

おうちの地震対策をチェック!

家の中の物が、「おちてくる、たおれてくる、うごいてくる」!

自分の家なら、どんなものがあぶないと思いますか。ここに書いてみて、どんな対策ができるか考えてみましょう。対策できているものには○をつけましょう。

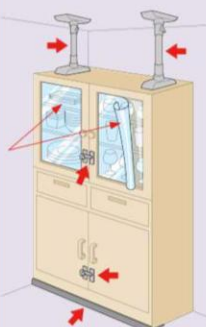
おちてきそうなもの

たおれてきそうなもの

うごいてきそうなもの



↑家の中でも、長時間すごす
場所や、夜ねる場所は、とくに
安全にしておこう。



何ができるかニャ?



地震が発生！「その瞬間」にできることは？

解答

Q1 リビングでゆっくりしていたら地震が発生！
どうする！？



① 外の様子を見るため、急いでげんかに向かう

② クッションで頭を守る・つくえの下に入る

Q2 エレベーターに乗っていたら地震が発生！
どうする！？



① ひじょうボタンを押して、外とれんらくを取る

② すべての階のボタンを押して、止まった階でおりる

Q3 夜中、ねていたら地震が発生！
どうする！？



① 暗くてこわいから、まどから外に出る

② ベットの地下に入る・まくらやふとんで頭を守る

Q4 歩道橋の上で地震が発生！
どうする！？



① 急いでかいだんを下りる

② その場にしゃがみ、ふり落とされないように近くのポールをつかむ

Q5 海で遊んでいるときに地震が発生！
どうする！？（ゆれがおさまってから行動）



① つなみが来るかもしれないから、高いたてものに逃げる（海から遠ざかる）

② 車に乗って、急いで家に帰る

<おうちの人へ>

災害時の「備え」は十分ですか？非常用持ち出し袋の中を、一度確認してください。



首相官邸ホームページの「災害の備えチェックリスト」にアクセスできます

備えてあんしん 非常用持ち出し袋と おうちの備蓄品

非常用持ち出し袋って何？

⇒ 避難の際に、持ち出すもの

- ・持ち出すべきものをあらかじめ詰めておこう
- ・いつもですぐに持ち出せるようにしておこう

□ 食料や水
最低3日分！
できれば1週間分×家族の人数分

保存期間の長いものを多めに買っておこう
消費したら補充する習慣をつけよう

□ 生活用品
ティッシュ、トイレットペーパー、
ラップ、ごみ袋、ポリタンク など

家庭で必要な物を備えておこう

備えておけば安心だニャ！



家族で「防災」のことを話そう

～おうちの人と話し合っ、大切なルールを決めておこう～

◆大災害が発生!おうちの人はずぐに帰ってこれません。
そんなとき、あなたならどうする?

ひなん場所を決めておかないと、おうちの人と会えなくなるかもしれないよ

 おうちでいて、あぶないと思ったら安全な場所へ移動しましょう。
その時、にげこむ場所はどこですか?

にげこむ場所を書いてみよう

 おうちの人^{れんらくさき}の連絡先は知っていますか?近所^{たふ}に頼りになる人
はいますか?

◆家族やしんせきの連絡先

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____

<おうちの人へ>

災害は、家族が揃っているときに発生するとは限りません。大災害が発生すると、職場などからすぐに帰ることができない場合があります。

家族間で、避難をする場所をあらかじめ決めておくと、おやみに探し回ることなく、スムーズに合流することができます。

<おうちの人へ>

●「近所に頼りになる人がいること」を、お子様が知っておくと不安を和らげることができます。

●災害時、携帯電話がつながらなくなる可能性があります。三角連絡法を知っていますか?離れた場所に住む家族や親せき、知人の家を連絡先に決め、そこを中継して家族の安否確認や連絡をとる方法があります。

さいがようでんごん

れんしゅう

◆災害用伝言ダイヤルの使い方を練習しよう

さいがいようでんごん

災害用伝言ダイヤル

案内を聞きながらやれば、おずかしくないよ

「イチ ナナ イチ」をダイヤル

録音するなら
「1」をおす再生するなら
「2」をおす

家族の電話番号をおす

伝言を話す

伝言を聞く

★30秒で伝えよう★



伝言を残すための電話番号は決めていますか?

電話番号を書こう

<おうちの人へ>

災害用伝言ダイヤルは、「電話番号に伝言を残すことができる」システムです。どの番号に伝言を残すのか、家族間で共有しておくことが大切です。

メッセージはどのようなことを残せばいいかな?
おうちの人^{れんしゅう}が知りたいことを想像してみよう。

■授業で練習したこと

- ・けがをしていないかな?
- ・今どこにいるのかな?
- ・なんでひなんしたのかな?
- ・だれといっしょかな?
- ・今日の服装は?
- ・防災グッズはもっているかな?

練習したこと以外に、おうちの人^{れんしゅう}が知りたいことがあれば書きましょう

171にかけるときは、お金はいらないよ



ポイント

ひなん場所が変わったら、
伝言を残しておこうねおうち・避難場所^{ひなんばしょ}の近く^{こきしきやうでんわ}の「公衆電話がある場所」を
知っていますか?

場所を書いてみよう

「171」の練習ができる日があります

- ・毎月1日と15日
- ・正月三が日
- ・防災週間(8/30~9/5)
- ・防災とボランティア週間(1/15~21)

一緒に練習しよう



<おうちの人へ>

最近、公衆電話をあまり見なくなりました。家族間で決めた避難所には公衆電話がありますか?休日に、避難所までの道のりを確認し、公衆電話があるか、お子様と一緒に確認しましょう。

また、災害用伝言ダイヤルの練習をしましょう。練習することで、お子様の安心につながります。

授業では、一部の児童に練習してもらいました。皆さん、「意外と難しい!」と悪戦苦闘しながら、一生懸命学んでいました。

【先生・保護者の皆さまへ】

ALSOKが社会貢献活動の一環として実施している小学生向け出前授業「ALSOKあんしん教室」では、防災をテーマとした授業「わたしたちができる防災ってなんだろう」を2023年に新設しました。

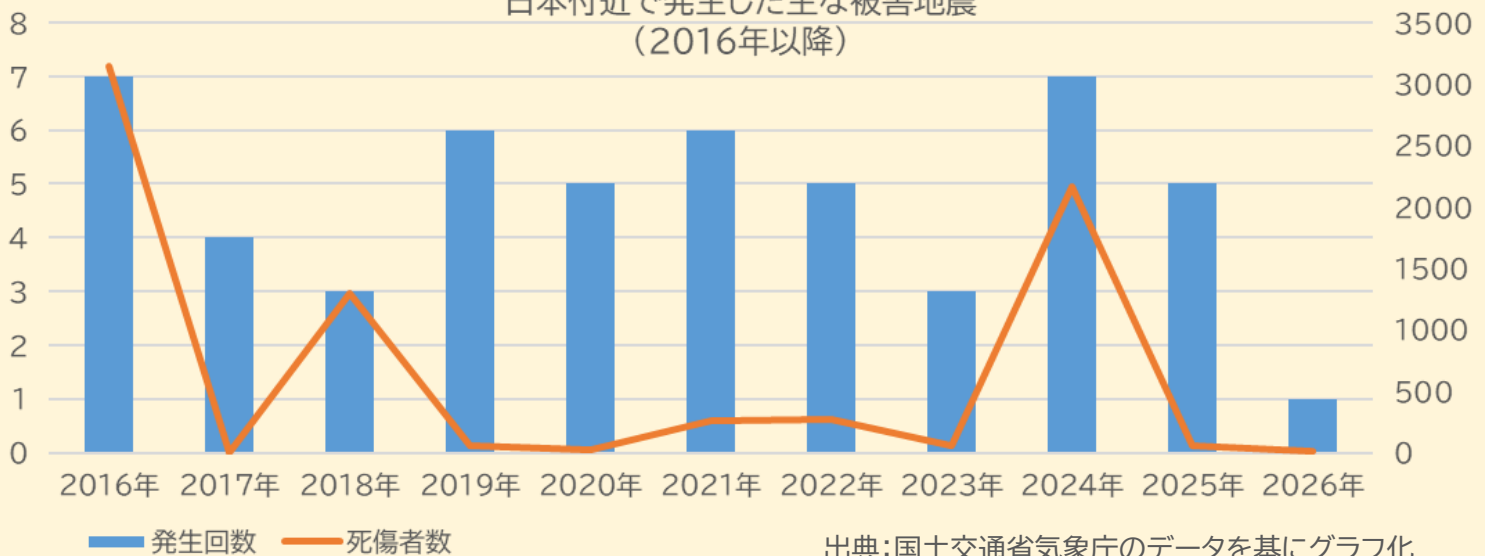
授業では、子どもたちに災害発生時の「身近に潜む危険」について考えるきっかけを提供するとともに、「自らの命は自ら守ることの大切さ」や、災害時に適切な行動を取るためには日頃から防災を意識しておくことが重要であることを伝えています。

防災意識を身につけるためには、単に過去の災害事例を学ぶだけでなく、「何が危険なのか」「どうすればその危険から身を守ることができるのか」を子ども自身が考え、判断する力を養うことが重要です。

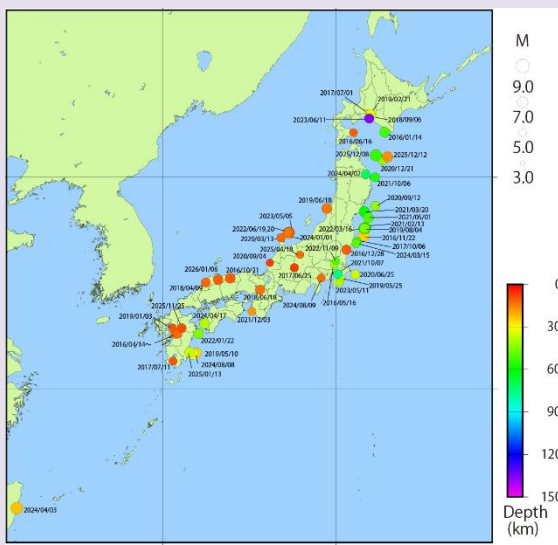
近年も地震による人的被害が発生しており、災害はいつ、どこで起きてもおかしくありません。災害による被害を軽減するためには、建物の耐震化や防災用品の備蓄といった「ハード面」の対策に加え、防災意識を高める「ソフト面」の取組みを継続することが不可欠です。お子さんが、あんしん教室を受けて、どう感じたか、何を身につけたかを、ぜひこの機会に話合ってください。

本教材が自然災害への備えを始めるきっかけとなり、一人でも多くの命を守ることにつながることを願っています。

日本付近で発生した主な被害地震
(2016年以降)



日本付近で発生した被害地震の
震央分布図(2016年以降)



「自然災害への対処など家族や身近な人と
話し合ったことがない」理由

